



下大和田・小山町谷津田だより -2025年12月 No. 286号-

【活動報告】

〈下大和田での活動〉 写真：田中正彦

第310回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2025年11月2(日) くもり時々はれ 報告:田中正彦

朝晩の気温が下がり、すっかり秋らしくなってきました。10月に雨が多かったせいか、森や道端にキノコが目立ちます。多くの動植物が次の世代に命を託すために卵や種子を残す季節です。アオジやジョウビタキなどの冬鳥も目にのるようになりました。今回はキノコや動物を利用して種子を運ばせる「ひつつき虫」を中心に、深まりつつある秋の森と谷津の生きものたちを観察しました。



できたばかりの来年のカレンダー「下大和田谷津田ごよみ 2026」を参加者に配布してから、谷津田を歩きました。タコノアシやガマの葉などが茶色く枯れ、深まりゆく秋を感じました。田んぼで最近数が少なくなったマルタニシを見つけ、オオタニシとの外見上の違いを観察しました。森に入るといたるところにキノコが傘を開いていて、地面から生えているのか木に付着しているか、傘の形や色など詳しく観察・記録しました。アラゲキクラゲを見つけて「家に持ち帰って食べよう」という方もいました。

フユイチゴがオレンジ色の実をつけていて皆で食べてみましたが、やはりまだ酸っぱいという感想が多かったです。記念写真を撮影して、午前中で観察会を終了しました。

参加者18名（大人13名、大学生3名、高校生1名、小学生1名）

森と水辺の手入れ「観察路の整備と旧マイ田んぼの草刈り」&第312回下大和田YPP「古代米の脱穀」

2025年11月16(日) 晴れ 報告:平沼勝男

谷津田は紅葉が美しい季節になりました。雲の多い日でしたが、青空に緑・黄・赤の色合いが映え、見る目を楽しませてくれました。



前回のマイ田んぼの復田作業は、植物に覆われていたのを刈払い機で刈りました。そしてこの日は田んぼに戻す作業、つまり水を入れて耕す作業です。しかしこれが大変な作業でした。地中にはヨシやガマ、ムツオレグサ、ミゾソバ等の根がしっかりと残っています。根は深く、隅々まで入りこんでいます。これを除去又は粉碎する必要がありますが我々の力では到底無理なので農家の方に助っ人をお願いしました。耕運機による作業です。

しかしすぐ耕運機が入れるのではなく、まだ残っていた表面の寝ている草や、刈り取った草の除去を全員が人力で行いました。特に厄介だったのはムツオレグサで、厚く、固く、広く、根も張っているため複数人が協力しての除去でした。まるで厚いカーペットを地面から引きはがし、クルクル巻いていくようなやり方で、大変労力をいました。

耕運機も最初は草や根が多く、深く耕せません。同じ場所を何度も何度も繰り返し回り、少しづつ深く耕すのです。午前中で終わらせる予定でしたが、甘かったようで、午後も作業を続けました。2枚の田んぼを耕しましたが、まだ完成に至りません。あと何回か、同じように耕運機を回す必要があります。

午後からは並行して、今年収穫されたお米（古代米）の脱穀作業をしました。脱穀機は順調に動いてくれました。山の手入れではオニグルミの種を植えました。草刈りもしました。

参加者13名（大人10名、大学生2名、小学生1名）

森の手入れ「竹の伐採」 2025年11月23(日) 晴れ

報告:鈴木郁也

この日は復田している田んぼの正面にある森の手入れを行いました。マダケを切り倒して運び出し、充分に太く強度のあるものは枝を落としておだ小屋に収めました。マダケを切ったあと、刈払い機で周辺のアズマネザサ・アオキを伐採したら、人が休むのにちょうど良さそうな明るい空間が生まれました。午後は、森にある材料を使ってリースづくりをしました。

参加者11名（大人8名、大学生1名、中学生1名、小学生1名）

〈小山町での活動〉

小山町・小学校田んぼの活動

☆11月期 小山町の活動 報告:赤シャツ親父

11月期に入るとすっかり秋も深まり、最低気温が10°Cを切る日も週一ペースで増していく印象です。リンドウ広場にほぼ一杯におだ掛けされていた稻の脱穀も進み、1本、また1本とおだが畳まれて、静けさの戻

る小山の田んぼは田作りの季節に入っています。それでもイノシシはしっかりと荒らしに入っています。彼らも真剣なのだろうが…困るな。

☆睡蓮田んぼ「古代米の脱穀」 2025年11月15日(土) 報告:赤シャツ親父

涼しい朝でしたが、良く晴れて、清々しい小春日和となりました。2台の足ふみ脱穀機は威勢よくフル回転し、睡蓮田んぼから収穫された赤米、緑米は一気に脱穀されました。当方はそれに負けじと必死に唐箕がけ、良い運動になった。やはり、実りは何れも良好に見え来るべく穂摺りが大変楽しみです。参加者大人5名

【谷津田・季節のたより】 2025年11月

<下大和田町> 報告 平沼勝男

11/2 ヒクイナが同時に3羽鳴っていました。アオジは声のみで5羽以上確認。ハイタカが上空を通過。キタテハが羽を広げてひなたぼっこをしていました。 11/3 脱穀機の作動確認の間、メジロが鳴いていました。

11/16 谷津田は紅葉が見ごろでした。田んぼで刈り取った草の除去をしていたらヤマカガシが出てきました。

<小山町> 報告 赤:赤シャツ親父、た:たんぽぽ、小:小泉勉、高:高山邦明

11/1 クチキコオロギの様な声(赤) 今季初めてアオジの姿を見る(高) 11/2 ツグミの声を初めて聞く、林のケヤキが色づく(高) 11/4 朝冷え込んで初霜が降りる(高) 11/5 ヤマガラすぐ近くに留まる(た)

11/6 シロハラないしアカハラの声を聞く(高) 11/7 畑で2羽のジョウビタキが追っかけ合い、縄張り争いか?(高) 11/8 モズの高鳴き、ジョウビタキの声(た) 11/10 アシ原でモズがアオジらしき小鳥を襲うが失敗(高) 11/11 今季初めてカシラダカとシメの姿を見る(高) 11/12 ツグミ6羽の群れがヒヨドリと一緒にカキの実を食べていた、今季はツグミの渡りが順調の様子(高) 11/15 田んぼにオスのキジが1羽死んでいた。狩猟解禁の初日でハンターが来ていたので手負いで逃げて田んぼで絶命したのか?(小)

11/17 メジロが3羽、コナラの幹で樹液をなめていた、日中、陽ざしの下でキタテハやヤマトシジミが元気に飛んでいた(高) 11/19 エナガ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラが混群を作り林を移動していくにぎやか(高) 11/20 稲刈りが終わった田んぼのあちこちでアキアカネが連結打水産卵(高) 11/21 田んぼの周辺に連結したオオアオイトトンボが多数訪れていた、マユタテアカネ、マイコアカネ、アキアカネの姿も(高)

【イベントのお知らせ】主催: NPO法人 ちば環境情報センター

<下大和田谷津田> 連絡先: 小西 TEL. 090-7941-7655, E-mail: yatsudasukisuki@gmail.com

※12月13日に予定していた収穫祭は中止になりました。餅つきを1月12日に実施します。

・森と水辺の手入れ

日 時: 2025年12月21日(日) 9時45分~12時 雨天中止

内 容: マイ田んぼ復活のための整備と森の木の伐採などを行います。

持ち物: 長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 参加費: 無料

・第312回 観察会とゴミ拾い

日 時: 2026年1月11日(日) 9時45分~12時 ※第2日曜日の実施です 雨天決行

内 容: 冬鳥の観察を中心に、鹿島川合流部まで巡ります。

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物 参加費: 100円

・第313回 下大和田YPP「新春 もちつき大会」

日 時: 2026年1月12日(月・成人の日) 9時45分~14時頃

場 所: 下大和田谷津田

内 容: 今年収穫した緑米で、臼と杵を使った本格的なもちつきをします。

持ち物: お皿、お椀、箸、コップなど

参加費: 中学生以上500円、小学生300円

<小山町谷津田>

・小山町、小学区田んぼ活動「畦の整備」

来期に向けた田んぼの整備を行います。今季もイノシシによる被害が大きいため、週末不定期にて実施致します。

日 時: 2026年1月期 主に土曜日10時~

場 所: りんどう広場

※上記参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo_i@nifty.com)までご連絡下さい。応援頂けると助かります。その他のお問い合わせは高山 (ceic.ypp.oyama@gmail.com)までお気軽にメールでご連絡下さい。

